

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022 年 8 月 26 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三菱電機株式会社 リビングデジタルメディア業務部 京都事務所長 佐久間 徹
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	三菱電機株式会社 環境マニュアル (ISO14001:2015・JISQ14001:2015)
適 用 範 囲	三菱電機株式会社
導 入 年 月 日	2018年3月14日 (三菱電機株の全事業所を統合した環境マネジメントシステムで更新認証)
認 証 番 号	登録番号: EC98J2017
基 本 方 針	1. 組織の活動・製品及びサービスが環境に与える影響を把握し環境活動の継続的な改善と汚染防止に努める。 2. 法令・協定及び事業所が同意するその他の要求事項を順守する。 3. 地域住民・関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域の環境保護及び地域社会との調和と貢献に努める。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2021年度環境マネジメントプログラム目標値 1. 生産時CO2排出量の削減: 4,092t-CO2/2021年度（理論排出量） 2. 電気使用量の再エネ使用率: 京都地区の太陽光発電の継続と発電量実績把握 3. プラスチック排出物の有効利用: 廃プラ排出量の把握
目標を達成するための取組の内容	1. 生産時CO2排出量の削減: 最新高効率機器（エアコン, LED照明）への更新・生産性効率向上及び省エネコントロール等の啓蒙にて省エネを図る。 2. 電気使用量の再エネ使用率: 発電量の計測と記録。 3. プラスチック排出物の有効利用: 排出量の記録。
目標を達成するための取組の進捗状況	2021年度目標に対する進捗 1. 生産時CO2排出量の削減: 2,882.8t-CO2/2021年度（理論排出量） 2. 電気使用量の再エネ使用率: 太陽光発電実績 281.4MWh/2021年度実績 3. プラスチック排出物の有効利用: 排出量実績 75.3t/2021年度実績
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2021年度環境マネジメントプログラムで策定した、目標値は全て達成できた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	2021年度に計画した順守評価項目に基づき、四半期毎に「順守状況を確認・報告」を実施。2021年度実績は、行政報告・届出は遅滞なく実施済み。行政より指摘・指導はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステム・環境パフォーマンスの見直しとレビューを毎年、年度末に実施し、次年度の指示を行う。(以下、2022年度へ向けての指示内容) ①組織変更に伴い、管理が必要な環境設備の移管、管理の引継は確実に 行うこと。 ②地区長交代に伴い、必要な届出等を漏れなく実施すること。 ③製品・部品出荷に係る規制は引き続き漏れのないようフォローすること。 その他の報告義務などについても遵法管理を徹底すること。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。